

野口雨情新作発表記念コンサート

雨情の四季(初演) 野口雨情作詞・門田和峻作曲

万葉集による歌曲集 万葉集/門田和峻作曲・布浦万代監修

雨降りお月さん／あの町この町／シャボン玉／赤い靴 野口雨情作詞・門田和峻編曲

向かい合う星々 門田和峻作詞・作曲 ほか

門田和峻

作曲／編曲／ピアニスト

金子美香

メゾソプラノ

野口雨情の 「四季」

The Four Seasons
by Ujo Noguchi

解説



野口不二子
野口雨情の直孫



布浦万代
万葉集研究家

2026.4.12 [日] 14:00開演 (13:30開場)

ノバホール 大ホール 茨城県つくば市吾妻1丁目10-1

大人 4,000円 22歳以下 2,000円

【主催】野口雨情の「四季」制作委員会

【後援】茨城県/茨城県教育委員会/つくば市/つくば市教育委員会/茨城新聞

【お問い合わせ】090-3217-4449(担当者)

申込方法

- ① オンラインチケットはこちらのQRコードから→
オンラインでお申込みの方には、当日受付にてミニプレゼントあり!
- ② メールにて予約、当日受付にて現金払い
gakusya.8766@gmail.com 野口雨情の四季制作委員会あて
- ③ ノバホール窓口(チケットの発売は2026年2月1日から)
当日券もごさいます。お子さんもお連れ頂けますが、
静かに聴いて頂くことが難しい時は席を外してくださいますようお願いいたします。



雨情の四季

遠い深山の年ふる松に

鶴は来て舞ひ来て遊ぶ

梅の小枝をやぶ鶯は

雪のふる夜の夢を見る

すめら御国は野の中の桜の

咲いた花から春が来る

波は渚に蜚は草に

月は山端に鮎は瀬に

秋か来たやら大空見れば

雲のゆき来も繁くなる

山は遠いし野原はひろし

水は流れる雲はゆく

門田和峻 作曲家

茨城県つくば市出身。東京音楽大学作曲専攻(芸術音楽コース)を卒業後、東京学芸大学大学院音楽教育専攻作曲領域を修了。2017年、久石譲によるコンペティション、Young Composer's Competitionにて室内オーケストラのための「きれぎれ」が選出され、同氏のコンサートにて初演。2018年より元劇団四季・長清智とこれまでに7作品のオリジナルミュージカルの制作・発表。2023年、元東京フィルハーモニー交響楽団フォアシュピラーチェリスト、広田勇樹と「広田門田デュオ」を結成し、作編曲とピアノを担当。以降全国ツアーを行い50公演以上を行う。クラシックギター、ヴァイオリン、チェロからなる五十嵐紅トリオ(観客動員数1万人以上)の編曲担当として30曲以上の編曲を提供。その他ソロ活動として、日本や地元・茨城県の伝統音楽・文化への研究と音楽を結びつける活動も行う。万葉集研究家・布浦万代氏との共同で、万葉集を歌曲にする活動を精力的に行う。短歌・俳句の歌曲化、童謡の編曲、尺八奏者とのデュオコンサート、TV、映画音楽など、幅広く活動する。



金子美香 メゾソプラノ

東京音楽大学を首席で卒業。同大学院、ザルツブルクモーツァルテウム音楽院マスタークラス修了。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位入賞。第15回日仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞受賞。オペラでは2008年二期会『ワルキューレ』でデビュー後、新国立劇場、びわ湖ホール、日生劇場、東京・春・音楽祭ワグナーシリーズなど多くの公演で存在感ある美声と高い音楽性でいずれも高い評価を得ている。また2018年夏にはバイロイト音楽祭『ワルキューレ』(ブラシド・ドミンゴ指揮)に出演という快挙を成し遂げ、2025年7月台湾国立交響楽団「さまよえるオランダ人」に招聘され好評を博した。コンサートではヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」「ミサ・ソレムニス」、メンデルスゾーン「エリア」「真夏の夜の夢」、ヴェルディ「レクイエム」のソリストとして活躍。NHKニューイヤーオペラコンサート、NHK-FM等にも出演。2018年には初ソロアルバム「南天の花」でレコード芸術特選盤、音楽現代推薦盤に選出された。2026年7月新国立劇場『エレクトラ』に出演予定。二期会会員。



布浦万代

万葉集研究家

「万葉集・まほろばの会」主宰。国連ヨーロッパ本部(スイス)、米国のボストン & ホノルルで万葉集を講演。潮来市の万葉集講座は、220回を迎えた。茨城県功績賞、つくば市功績賞、日本民間教育最高功労賞を受賞。



野口不二子

野口雨情の直孫

野口雨情の直孫として北茨城市に生まれる。雨情の詩や人生観の背景についての研究を長年に亘り続けている。全国各地での講演の他、海外を訪問し、講演を通して童謡の普及活動に取り組む。